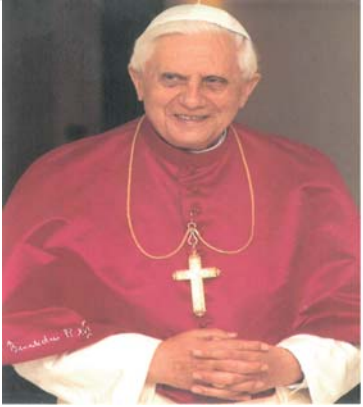


教皇ベネディクト十六世
2011年四旬節メッセージ

洗礼はキリストとの出会いです！



この四旬節にあたり、洗礼のときに神がわたしたちにお与えになった恵みを新たに受けようではありませんか。そうすれば、わたしたちのすべての行いが、その恵みに照らされ、導かれるでしょう。(教皇ベネディクト 16 世 四旬節メッセージより)

1月31日から2月1日、玉名郡のホテルセキアにて、福岡教区で働く53人の司祭が参加して司祭総会が開催された。始めに、現在宗像黙想の



次に今年の教区方針について、どのような具体化ができて、どのような具体化ができて、

司祭総会

教区組織の見直し 長崎教会管区の取り組み

教区方針の具体化、九州管内巡礼コース整備、移動青年・学生の受け皿

家に建設中のザビエル聖堂(旧鹿児島教区カテドラル)について、来住神父が説明した。2006年に始まった再建工事は、当初の予定より遅れて2013年4月に完成予定であること、またこのプロジェクトがどのような目的で進んできたか、再建される意義は何かなどを説明した。司祭たちにとって最も関心のあ

るか、司祭相互に分ち合い1日目を終えた。2日目、まず、W・キツペス神父が司祭の奉仕職にとって重要な意味を持つ臨床パス

トラルケアについて話した。日本の医療現場に宗教者が働く場がほとんどないこと、特にカトリック病院では、医療従事者と宗教者が協働して患者に対する全人的ケアが必要ではないかと語った。

質疑で、司祭としてご聖体を持つ病者のもとを訪れるが、肢体不自由の方々、高齢者に接するときには何か適切な勧めはないかという質問に対して、「医療従事者はそれぞれ

の務めを果たすために病室に入る。司祭は、み言葉と聖体を授けるために病室に入る。しかし、まず何かをするためにではなく、相手のニーズを知り、応えるために、患者に対して一人の無力な人間として病者に接してみてくだ

り。また、司教は、長崎教会管区の動きとして、叙階後数年の若い司祭たちのための研修制度を考えるチームがスタートしたこと、九州管内の史跡、巡礼コースなどの整備が教区を越えてできないか検討されていること、また青年や学生たちが就学、就職等で移動する際の教区を越えた受け皿作りをするグループが動き始めた点などを紹介した。

司祭評議会 今年の教区方針など検討

1月25日、今年度第5回目の司祭評議会が司教館にて開催された。

第1の議題は、「日本の教会の方向性を確認し、福音宣教のあり方について検討するための提案」について福岡と熊本から報告された。

これは、司教団の呼びかけに対して各教区が取りまとめて答申するものである。

第1回NICE(1987年)以降、20年以上が経過し、

司祭叙階式

日時：3月21日(月) 11時
場所：カテドラル
受階者：大塚了平 助祭
谷口尚志 助祭
*当日はどなたも公共交通機関のご利用をお願いいたします。

3月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】ラテン・アメリカの正義と平和
【宣教】福音のために迫害され差別されている人々
【日本の教会】四旬節の愛のわざに励む

時の話題

島津智明

「ホームが本当に気持ちの安らぐ場所だったのか」など色々なことを考えます。しかし、私の心配や不安とは逆に、毎日の生活のなかで色々な気持ちや状況を一歩ずつ乗り越えてきた子どもたちはとてもた

子どもたちに伝え

忘れたことはないか

「寂しいけど自立するためにしっかりとしなければ」と一生懸命突っ張ろうとしていたり「社会の何が分からないかも分からない」という不安な気持ちを持っていることに気がきます。こういった気持ちを抱えたまま社会に出ていき、人間関

係等に悩み離職していく児童養護施設卒園者が数多くいることもまた事実です。このような事実に対応するために継続した関わりが出来るような法律改正や仕組みを作っていくことも大切だと感じます。しかし、本当に大切なことは、このような気持ちをすぐ傍らで親身になって聴いてくれる人がいる社会を、私たち大人が創っていくことではないかと思っています。

「神様、どうかこの子どもたちが社会の荒波の中で傷ついたりしても、自分の幸せを見つめるために力強く歩んでいきますように」と祈るばかりです。児童養護施設 聖小崎ホーム指導員

第一回教区司祭生涯養成開催



この講座は、司祭生涯養成チームが数年前から計画していたもので、5年を周期として、毎年2週間の研修期間で計画されているものである。

今年はその第1年目として、4人の講師が2日間ずつ担当し、阿部仲麻呂神父(サレジオ会)は、「神学再考：いま神学の意味を問い直す」というテーマで、浜口吉隆神父(神言会)は、「延命医療と終末期医療と倫理」、英隆一朗神父(イエズス会)は、「福音から見る現代日本社会」、百瀬文晃神父(イエズス会)は「下

2月14日から26日まで雲仙の有明ホテルにて、第一回司祭生涯養成講座が開催され、延べ10人の司祭が参加した。

「あなたは教会に何を求めますか。―信仰を求めます。信仰によって何が与えられますか。―永遠の命を与えられます。」▼今年も四旬節が始まります。それぞれの小教区においても新しい兄弟姉妹を迎える準備が始められます。私たちは、この新しい兄弟をどの程度意識し、祈っているでしょうか。教会が、第2バチカン公会議において洗礼の準備制度を刷新したのは、洗礼の目的が、受洗者のみならず、共同体全体の聖化にあるためでした。しかし、まだ私たちには、共同体的な意識が薄いのもかもしれません。洗礼を受けた方が、いつの間にか教会に来られなくなった。でもその方をケアする人はいない。誰も動向を知らないということとは珍しくありません▼洗礼の恵みは、計り知れないほど大きな恵みです。その恵みは、私個人に与えられたものであり、同時に教会からまた、教会のために与えられました。パウロは言います。「一人ひとりに霊の働きが現れるのは、全体の益となるためです」「あなたがたは霊的な賜物を求めているのですから教会を造るためにそれをますます豊かに受けるように求めなさい」(1コリント)▼今年の四旬節、私たち個々人の回心はもとより、受洗者とともに共同体としての回心、聖化を求めましょう。そして洗礼入門式、志願式、そして復活徹夜祭のキリスト教入信式を通して、新しい兄弟たちを喜びのうちに迎え、私たちの信仰の原点を見出し、私たちが永遠の命に招かれていく者であることを再確認したいものです。(M)

福岡市中央区平和3丁目1-5

宣教師J・M・コール神父の帰天100年を記念



2月9日、熊本地区の社会福祉の草分けとなつた偉大な宣教師ジャン・マリイ・コール神父（パリ外国宣教会）の帰天100年を記念してマリイの宣教師フランシスコ修道会の聖堂で島崎教会のマルケツト神父の司式による感謝のミ

サが捧げられた。パリ外国宣教会の宣教師として1889年、39歳で熊本に赴任したコール神父は、本妙寺周辺のハンセン病者の悲惨な状況を憂慮し、母国のフランスに支援を要請。熊本地区に3つの教会を建て、貧困者、孤児、老人、病人のための施設を開いた。とりわけハンセン病者を世話するため、すでにフランスから来日していたシヨファイユの幼きイエズス修道会のシスターたちの協力を得て、収容施設を作り献身的な奉仕が行われた。さらにコール神父は、すでにハンセン病の看護に実績があるマリイの宣教師フランシスコ修道会の創立者に会員の派遣を要請、1898年5人のシスターがローマから来日。1901年、海外からの寄付によって熊本に待望のハンセン病院が落成し「待労院」と名づけられた。

佐賀信徒協が勉強会パウロが教会造りの土台にすえたもの



1月23日（日）佐賀教会幼稚園ホールで鈴木信一神父（聖パウロ修道会）を講師として信徒研修会が開催された。まず、鈴木神父は、「教会とは何か」という問いかけから始めた。「教会は建物ではなく、私たち一人ひとりのことである。その中で、何を大切に生きていくかが問われている」と語った。

病の患者を埋葬した荒尾山の墓地跡に「ジャン・マリイ・コール記念公園」が建設され、5月29日12時より祝別と野外ミサが行われる。主催のマリアの宣教師フランシスコ修道会では「多くの方々の参加をお待ちしています」と呼びかけている。

次に、この日の第2朗読でコリントの教会が分裂状態にあったことを紹介し、「人が集まるところにトラブルはあるし、なくなることはないが、忘れてはならない点は、組織は奉仕をするためのものである」ということである。そのことを忘れて、互いに自己主張をするだけであれば、共同体は意味のないものとなってしまふ。私たちも教会共同体のみならず、家庭や職場の中でどのように生きているか、どのような姿勢で関わっているのか、絆を大切にしているか」などの問いかけがあり、日常

厳寒の街に温かい豚汁を携えて



大名町教会では、25年前から続く「熱いスープの会」を、通年存続するホームレス支援グループ「スーパの会」に改変し、今年も越冬炊き出しを展開している。主に調理班と配布班に分かれて活動し、調理班は福岡地区婦人会が中心となり、受け取る方々の気持ちになつて、心のこもった

の生活や教会共同体の中で見落としがちなことが指摘された。また、パウロは、「愛は律法を全うするもの」と語り、共同体造りの基礎に隣人愛を据えたが、「それも頭で考えるのではなく、生きざまとしてである。本当に愛を生きて、深めていけば、愛という言葉は要らなくなる、教会共同体こそがその愛を生きていく場であり、私たちの愛が鍛えられていくところだ。一生を貫く何か、持って歩んでみよう」という言葉は印象的であった。私たちがいたいた霊の賜物は、自分のためのみならず「教会を造り上げるために」（1コリント14・12）受けていることを忘れてはならない。

最後に聖ベルナルドが、10人のおとめのたとえ話し（マタイ25章）について説教した中で、5人の愚かなおとめ達もこの共同体に必要と述べていることを紹介し、共同体の中で「弱く見える部分」こそ、必要であることを強調した。



☆「無償の愛に生きて」シスター 村田初子（シヨファイユの幼きイエズス修道会）著



この書は、1865年12月に大浦天主堂を落成させるまでの建築にまつわる苦労話や信徒発見をするいきさつ、浦上の信徒たち3460人の総流刑いわゆる「旅」のこと、禁教令が解かれたことなどが、簡潔に描かれている。幼きイエズス修道会のシスターたちが1877年にプチジャン司教に招かれ神戸に上陸したこと、その当時の日本の貧しい人々のこと、ただ死を待つだけの子どもをあずかり、必死に育て、無償の愛を生きた「明治期のマザーテレサ」と言っても過言でない4人の修道女の実話もある。

講談社発行
税込定価 1260円
セントポールやサンパウロでもお買い求めできます。

☆だいじょうぶかな 森や海 エレナ・パスカリ 文
ティナ・マクノートン 絵
女子パウロ会 訳

世界の中の可愛動物達も食べる物もなくなつていく。動物の母と子の暮らしを追いつめる。幼児から大人まで楽しく考えられる絵本です。

女子パウロ会発行
税込定価 1470円



通学路の乗換えバス停

お元気ですか！

教皇ベネディクト16世は昨年10月、中東特別シノドス（世界代表司教会議）の閉会にあたり、次の通常シノドスのテーマを「新しい福音宣教」と発表されました。

「福音化」というと、とかく日本では、教皇パウロ6世の使徒的書簡『福音宣教』に

基づき、社会の福音化を強調しています。しかし、教皇は決してこのことだけを言ったのではありません。福音化・福音宣教とは、現代という新しい状況に生きる全信者とすべての人に向けられた教会と全信者のすべての活動のことです。「新しい福音宣教」とは特にヨーロッパの教会に向けられたもので、洗礼を受けながら、信仰の実践をしなくなった人々への新しい福音化を目指すものです。日本はまだ洗礼を受けていない人もたくさんですが、一方で、信仰を實踐している信者（主日のミサに來ている）は3割程度。

内にも外にも福音化が必要です。この福音化の大切な手段がカテケシスであり、福音化の活動が司牧、その中心で不可欠なのがミサです。

私の勉強している学科は「若者の司牧とカテケシス」。まさにこの問題です。勉強は単に教会の教え（神学）だけにとどまらず、心理学、教育学、社会学などに及びます。なぜなら、現代のカテケシスは、各世代、各人が抱える人生目標と問題に光を当て、日常生活の各瞬間において愛と自由のわざを選択実行して、共同体の一員、キリストの弟子として成熟していけるよう

に生涯にわたり援助する。洗礼を受けていない人には、その人の経験を元に神様と出会い、神の子として生きることを選択するように助けていく、また、教会の希望であり宝である青年たちには、彼らと共に歩んで成熟させていく、これが目的だからです。

この実現のためには各人の生きている環境、心身的状況を知らなければならぬというわけです。勉強は大変ですが、この大切な務めを日本でもより良く行うことができるよう、イタリア・ローマから田中重治神父

豚汁とゆでたまごを作っている。配布班は福岡地区の各カトリック教会、キリスト教諸派、仏教寺院などの信徒、高校生、大学生、ホームページで知った一般の人など、多くの人が参加している。夜回りで出会うホームレスの数は各コースの合計で約250人。ピーク時に比べれば半減しているが、このところ微増状態である。ニアホームレスと呼ばれる若年層の増加も懸念される。社会の底辺に追いやり

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株) ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業

- ・一般住宅（新築・改築工事）
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

ともに学び、祝い、生き、 伝える家庭共同体

2011 年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い
『マタイによる福音書』

プログラム

②3月13日 山上の説教 森山信三神父（西新教会）
場 所：カトリック大名町教会1階講堂
会 費：1回 5000円／年間通し2000円
用意するもの：新約聖書（またはマタイ福音書）
主 催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会
森山信三神父（西新教会）☎092-851-8032
島山部会長（笹丘教会）☎080-5246-1816

青年黙想会

テーマ：十字架のイエス
日 時：3月19日（土）20時～20日（日）13時
場 所：カノッサ修道女会大牟田修道院
同 伴：Sr. 大田暁子 fdcc 参加費：1500円
申込先：Sr. 大田 ☎0944-82-4723
mail: sis.ak@hotmail.co.jp

中高生合同ミサ&キャンプのお知らせ

日 時：3月19日（土）13時開始
20日（日）16時解散予定
場 所：カトリック小倉教会・小倉カトリック幼稚園
対象者：福岡県の中高校生
参加費：3000円（宿泊、食費等含む）
内 容：レクリエーション、分かち合い（合同ミサのテーマに沿って）、合同ミサ、その他 今回、高校生・中学生同士のつながりができればと思っています。
参加方法：各教会に配布している参加申込み用紙に記入して、郵送またはFAXで小倉教会に連絡してください。
連絡先：カトリック小倉教会 ☎093-921-0139（北川健悟）

各地区のキリスト教講座

信徒の生涯養成として、キリスト教入門にも奨励される講座です。下記の教会で行われています。
カトリック大名町教会 092-741-3687
カトリック大牟田教会 090-8221-5293
カトリック小郡教会 0942-72-3256
カトリック手取教会 096-352-3030
カトリック武蔵丘教会 096-339-1910
*お問合を待っています。

2011 年度 聖霊による信仰生活刷新セミナー

【日時】 毎週月曜日：午前 10:30～12:30
【会場】 カトリック大名町教会 1階講堂
①週 5月2日「神の愛」 F・マッケイ神父（鳥栖教会）
②週 5月9日「救いのみわざ」 遠山 満神父（笹丘教会）
③週 5月16日「新しい命」 H・オカロール神父（小郡教会）
④週 5月23日「回心」（聖霊の満たしを受けるために） V.アレックス神父（広島教区宇部教会）
⑤週 5月30日「満たし」 F・マッケイ神父（鳥栖教会）
B・ガブリエル神父（御受難会）
⑥週 6月6日「聖霊のうちの成長」 C・スメット神父（トラピスチン付）
⑦週 6月13日「キリストへの変容」 G・ミシェル神父（箱崎教会）
⑧週 6月20日「派遣のミサ」 司式：宮原良治司教・司祭方
テキスト：「新生の門出」（小林有方司教訳）
参加費：自由献金／連絡先：☎☎（092）821-6349 森

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

2011年

案内板

会合と催し

3月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 3月

4日（金）～6日（日） オランテの集い
12日（土）～13日（日） 神の前で生と死を考える集い
参加費
①全日程（宿泊） 10000円／②全日程（宿泊なし） 6000円
③1日のみ参加（食事付） 4000円
17日（木） 四旬節日帰り黙想会①
19日（土） 福岡チェナクルム
19日（土）～21日（月） 芸術セミナー
28日（月）～4月1日（金） オブレート会黙想会
4月2日（土）～3日（日） 四旬節一泊黙想会
*2面の黙想の家の広告も参照してください。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会と ともに祈る
・日 時：3月10日（木）10時～14時半
・内 容：四旬節
指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父（真命山院長）
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
・次 回：4月14日（木） 過越しの三日間
☎0968・85・3100 0968・85・3186 ・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

◆ 福岡
■聖霊による刷新福岡祈りの集い（日時）毎週月曜11時から12時30分（場所）大名町教会1階（内容）賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い（代表）Br床嶋（問合せ先）☎092・521・2503 蓮尾
■虹の会（日時）3月12日（土）13時30分（場所）カトリック大名町教会3階（内容）子どもを喪くした悲嘆の分かち合い（参加費）6000円／終了後懇親会あり（問合せ先）☎090・1162・6395 柴田須磨子
■福岡ホスピスの会勉強会（日時）3月13日（日）14時から（場所）カトリック大名町教会（内容）「人間として」生まれた意味をどう考えるか（講師）田畑正久医師（宇佐市佐藤第2病院院長）（参加費）会員5000円／一般1000円問合せ先 ☎092・874・6321

■福岡地区召命を共に祈る会（日時）3月17日（木）14時半から（場所）カトリック大名町教会3階会議室（指導）浦川務神父（教区召命担当）
■在世フランシスコ会集会（日時）3月20日（日）14時（場所）高宮フランシスコ会修道院在会集会所（指導）戸村悦夫神父（問合せ先）☎092・843・5831 岩崎
■グレゴリオ聖歌を歌う会（日時）3月22日（火）11時（場所）聖クララ寮（福岡市南区）（内容）聖体賛歌、アヴェ・ヴェルム・コルプス・他（問合せ先）☎096・380・5686 堺敬子
■スピリチュアルケア勉強会（日時）3月26日（土）13時から16時（場所）サン・パウロ福岡センター（対象）臨床パス（主催）臨床パス・トラピスチン・教育研究センター北九州ブロック（参加費）5000円（申込先）☎☎092・861・4802 海江田紀子
■心の健康セミナー（日時）6月19日（日）14時から（場所）カトリック福岡黙想の家ログハウス（テーマ）心の健康セミナー／家族3（父と子）（指導）小宮豊師精神科医師（参加費）原則無料（自由献金）（主催）「心の健康セミナー」を支える会紫苑COM（問合せ先）☎0940・32・1173 矢田

■美野島司牧センター あなたの勇気が路上の命を支えます！●ホームレスの方に手作りのお昼ごはんを毎週火曜日10時30分●越冬期ホームレス支援夜回り3月11日までスーアの会と合同・金曜日20時から／大名町教会に集合した方を訪問Ⅱ第3土曜日13時（問合せ先）☎092・431・1419 M・コース神父
◆ 北九州
■小倉祈りの集い（日時）3月25日（金）13時半から15時（場所）カトリック小倉教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道会）（内容）「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り（連絡先）☎090・3985・5209 松田裕子
◆ 佐賀
■佐賀祈りの集い（日時）4月2日（土）10時半から12時 毎月第1土曜日（場所）佐賀カトリック会館（内容）ミサと祈り（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武
◆ 熊本
■熊本地区召命を共に祈る会（日時）3月17日（月）11時（場所）カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会☎096・368・2825 青木悟神父
■カトリック看護協会福岡支部

お知らせ

学校法人泰星学園の設置する「泰星中学高等学校」（福岡市中央区）が、4月1日（日）から『上智福岡中等高等学校』と校名を変更いたします。

日 時＝5月3日（火）10時～5日（木）16時
場 所＝福岡黙想の家
参加費＝12000円（宿泊、食費、事務費含む）
携行品＝ロザリオ、洗面具、寝巻、着替え（楽な服装）
連絡先＝TEL 093-592-0316 徳永哲（戸畑教会信徒）
指導司祭＝竹森勇神父

第49回クルシリヨ開催案内
（日時）3月13日（日）14時30分（場所）聖心病院（問合せ先）☎096・352・7181 Sr竹内

編集後記

司祭生涯養成研修会に参加しました。講師の一人を務められた濱口神父様は倫理神学の専門家です。数年前に脳梗塞でお倒れになり、不自由な体にもかかわらず、お話しされるそのお姿に心を打たれました。末期医療など生命の問題を追求して来られたわけですが、自ら不安と苦悩を抱えている患者の立場となられて、ご自分が積み上げてこられた学問を理論とともに、体験を通して語られたことに感銘いたしました。信仰は、生きなければ意味がありません。福音は、言葉で伝えるだけではなく、生き方で伝えるものではないでしょうか。弱さを抱えている私たちにあって、ここが難しいところでもあります。M恵みの時となりますように。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院
*入院基本料（一般病棟7:1）
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室 いくま整骨院

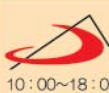
平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉



今や、恵みのとき、
今こそ、救いの日

3月13日、20日、27日の日曜日は、
11:00～15:00で営業いたします。



メディアによる福音宣教のために・・・

サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土) / 日・祝日休業 / 地下鉄赤坂駅より徒歩3分・駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930